**【記念植樹実行委員会　代表の挨拶】**

皆様、こんにちは。

日本在住ベトナム人協会の会長、グェン・フォン・カィンと申します。

本日、記念植樹実行委員会の代表として、ご挨拶の機会を頂きますこと、たいへん光栄と存じます。

私たち、日本定住ラオス人、カンボジア人、ミャンマー人、ベトナム人にとって、本日は忘れられない歴史的な日ですと思います。

ほぼ10年前、2012年4月29日に、姫路定住促進センターの跡地に、難民を受入れた日本政府、日本国民、および関連諸機関・団体に対して、私たち難民の感謝の意を表す感謝碑が建てられました。本日は、同じ目的でこの美しい公園で私たちの長年の願いである記念植樹が実現できましたことは何よりも嬉しいことです。

本日、ここでハナミズキが二本植樹されることになります。ハナミズキの花言葉は「返礼」「私の思いを受けて下さい」ですと言われています。この意味で、この二本のハナミズキを植樹することで、私たちの日本定住生活の第一歩において暖かく支援してくれた方々に対して、その恩を私たちはいつまでも忘れられないとの気持ちを表したいと思います。

特に、品川の国際救援センターの方々、品川区行政機関および品川区民の方々、アジア福祉教育財団の方々、難民事業本部の方々に対して感謝の意を表したいと思います。

草を食べるスーツを着た男性

低い精度で自動的に生成された説明また、私たちの子孫が自分のルーツを探す際、この二本のハナミズキを目にし、「先人が何故祖国を離れ、どのように日本定住生活を始め、如何に日本国政府・国民に助けられたか」のことを思い起こすように、私たちはこの二本のハナミズキに願いを託したいと思います。こうして、子孫たちも「感謝心」をもって日本で善良な生活を営み、日本社会・経済の発展のために努力して行けば何よりもよろしいことですと思います。

終わりに、アジア福祉教育財団の支援がなければ、この記念植樹事業が実現できないことを私たちは認識しています。この事業の企画段階から実施段階まで、アジア福祉教育財団より多大の支援を賜りましたこと、ここで実行委員会の代表として改めて厚く御礼申し上げたいと思います。

ありがとうございます。

記念植樹実行委員会　代表

NPO法人 日本在住ベトナム人協会

会長　グェン・フォン・カィン

（代読広報・外務担当　海野 偉文）